

《参考数値・情報》その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体《断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等》(△)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
特になし	蟹江線は近鉄蟹江駅への路線で通勤・通学に弥富市南部の住民も利用しているが、令和3年9月1日から令和4年8月31日まで、弥富市コミュニティバス南部ルートで通勤・通学需要に対応した近鉄弥富駅を目的地とする南部地域通学通勤バス社会実験運行を実施した。令和5年度には、南部地域でデマンド運行の社会実験を行い、その際、飛島公共交通バス停留所にも目的地停留所を設置した。(弥富市)

3. R5年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)			
A	事業評価を踏まえた取組 ・運行事業者及び関係自治体等との協議 ・ふるさとフェスタでのPR活動	市町村名： 弥富市	市町村名： 蟹江町	市町村名：	市町村名：
改善点とした事項(△) ・HP、チラシへの配布 ・イベント時のPR活動実施 ・利便性向上のための公共交通網再編 ・沿線イベントや行事のPR ・他の交通機関との連携を強化		南部地域公共交通網再編のため、各地区で住民意見交換会とデマンド実験運行説明会を開催し、南部地域の方が望んでいる公共交通網について把握した。	飛島村で行われるイベントをPRすることで、普段利用しない人が利用する機会を作った。		
関係者の連携等(△□)	その他				
・運行事業者及び関係自治体等との協議					

4. 今後の課題

課題と認識している事項				
運営主体(△)	沿線市町村(□)			
・交通量、渋滞、踏切待ちによるダイヤの遅れ ・通勤、通学時の車内混雑(30～40人乗車)	市町村名： 弥富市	市町村名： 蟹江町	市町村名：	市町村名：
	きんちゃんバス東部ルートと蟹江線との乗り継ぎ利用者は少ない状況にあるため、利便性向上のため東部ルートの公共交通網再編を実施する必要がある。	通勤通学の手段として利用されているため、利用者が固定されてしまっている可能性がある。		
運行事業者(△)				
利用者が安心してバスを利用できるよう、運行事業者として、車内換気及び感染防止案内の実施、乗務員の健康管理の徹底を継続していく。				

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組				
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)		
R6年度、R7年度に行う取組	・増便、ダイヤ改正、名駅直行使など利便性向上策の検討(導入)	市町村名： 弥富市	市町村名： 蟹江町	市町村名：
		南部地域の公共交通網再編の社会実験の動向を見ながら、蟹江線と接続する東部ルートについても、住民意見交換会などを実施し、利便性向上のための公共交通網再編を行う。	利用者の幅を広げるため、沿線上のイベントや行事のPRや、他の交通機関との連携を強化する。	

注. 評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況に関しての評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)			
	市町村名： 弥富市	市町村名： 蟹江町	市町村名： 飛島村	市町村名：
目標	①利用者数の維持・増加 ②毎年80人以上新規利用者の獲得 ③利用者1人当たりの運行経費1,000円以下(R7年度) ④収益率6.0%以上(R7年度)	未策定	①利用者数 126,160人 ②利用者一人あたりの財政支援額 385円	
自己評価	①R4年度目標9.1万人/年に 対し7.4万人 ②86人 ③1,457円 ④4.9%		①利用者数 133,866人 ②利用者一人あたりの財政支援額 257円	

7.補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(口)			
市町村名:	市町村名:	市町村名:	市町村名:
弥富市 きんちゃんバス東部ルートのうち、亀ヶ地及び善太橋西の2箇所のバス停で接続している。東部ルートの利用者数は例年増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの影響でR元年度1.42万人、R2年度0.88万人で、R3年度0.83万人、R4年度0.88万人、R5年度1.0万人(R5.10時点の予測値)とR元年度からR2年度にかけて新型コロナウイルスの影響により大きく減少し、現在もR元年度の水準まで回復していない。	蟹江町 近鉄蟹江駅前のバス停で近鉄蟹江駅及び蟹江町の自主運行バス(お散歩バス)と接続している。		

通信欄 (この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)

※マクロを用いて集計しますので、セルの結合は絶対に変えないでください